



図書館 ニュース

目次

はじめて図書館を利用されるみなさまへ …… 127	「電子ジャーナル導入による学内冊子体 1誌化」推進学内説明会開催報告 …… 135
休館日のお知らせ …… 129	平成13年度 保健医療学部卒業生寄贈 図書のお知らせ …… 137
附属図書館システム休止のお知らせ …… 129	寄贈資料のお知らせ …… 138
附属図書館システム改修計画(概要) について …… 130	新着資料案内 …… 139
医学中央雑誌検索システムの移行は終わ りましたか? - CD-ROM版医学中央雑誌 検索システム停止のお知らせ - …… 133	図書館日誌 …… 150
情報検索サービス(NACSIS-IR:ナクシス アイアール)導入のお知らせ …… 134	札幌医学雑誌の投稿受付け …… 151

附属図書館の入退館及び貸出手続きはIDカード方式になっております。開館時間は、学外者も利用できる通常開館(職員在中)は平日9時から20時、学内者及び本学卒業生、元教職員が利用できる特別開館時間帯(職員不在)は平日20時15分から24時まで、土・日曜日は9時から24時まで図書館を利用することができます。2階がメインフロアになっており、カウンター、参考図書コーナー、AVルーム、ブラウジングルームなどがあります。3階は1990年以降の雑誌が配架されており、4階は1989年以前の雑誌と単行本が配架されており、また、情報化社会にふさわしく情報検索端末やAV機器が設置され情報センターの充実したネットワーク環境のもと、各種情報検索やインターネットが利用できます。利用者自身がお自分で利用できるように機械化になっておりますので、操作方法等についてご不明な点がございましたらカウンター(内線2426)までお問い合わせください。利用者みなさまの図書館利用を図書館職員一同お待ちしております。

本誌では、外国雑誌に投稿された先生方の論文を紹介いたしております。ご希望の方は随時本誌編集担当の主査(2422)まで共著者名、論文名、雑誌名、巻・号・年月をお知らせ下さい。

編集・発行 札幌医科大学附属図書館

(〒060-8556) 札幌市中央区南1条西17丁目
TEL (011)611-2111(内2422)
FAX (011)641-9646

附属図書館ホームページ

URL <http://www.sapmed.ac.jp/libr/>

休館日のお知らせ

附属図書館は次のとおり休館（通常開館及び特別開館）とさせていただきます。IDカードによる特別開館についてもご利用になれませんので予めご了承ください。

なお、5月6日（月）は振替休日ですので、特別開館のみ利用できます。

日 程	休館理由
平成 14 年 4 月 3 日（水）	蔵書点検整理日のため
平成 14 年 4 月 29 日（月）	国民の祝日のため
平成 14 年 5 月 3 日（金）から 平成 14 年 5 月 5 日（日）まで	国民の祝日のため

附属図書館システム休止のお知らせ

附属図書館は機器更新のため次のとおりシステムを休止いたします。利用者の方にはご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

期 日	停止サービス名等	理 由
平成 14 年 4 月 2 日（火）	カウンターにおける貸出・返却	平成 14 年度図書館 システム機器更新のため
平成 14 年 3 月 27 日（水）から 平成 14 年 4 月 2 日（火）まで	自動貸出システム	
平成 14 年 3 月 27 日（水）から 平成 14 年 4 月 2 日（火）まで	貸出状況照会、予約	
平成 14 年 4 月 2 日（火）	目録検索（OPAC）	
平成 14 年 3 月 27 日（水）から 平成 14 年 4 月 2 日（火）まで	Web 版学外文献複写申込	
平成 14 年 3 月 27 日（水）から 平成 14 年 4 月 2 日（火）まで	附属図書館システム利用者用 パスワード申請受付	

ご不明な点は、カウンター（内線 2425）までお問い合わせください。

附属図書館システム改修計画（概要）について

“ PIRKA (sa~~P~~poro medical university library *I*ntegrated *R*etrieval & *K*nowledge *A*rchival system : 札幌医科大学附属図書館統合型検索・知識集積システム) ” の愛称で文献検索、あるいは学外文献申し込み等の原報入手にご愛用いただいています附属図書館システムですが、平成 9 年度の現システム導入より早 5 年を迎え、すでに講座等への個別ご案内、あるいは図書館ホームページ等のご案内のとおり、3 月 27 日 (水) より 4 月 2 日までの間、システムを停止させていただき、機器及びソフトウェアの更新作業を行っています。この度の作業は平成 9 年度に導入され、賃借期間が満了になった機器及びソフトウェアの更新を主な内容としていますが、電子ジャーナルの普及・進展等、昨今の学術情報流通の変容に対する利用者側システム・サービスの改修をも目的としています。

ここでは新年度以降、順次提供する予定の PIRKA の新しい機能の概要について述べさせていただきます。

1 電子ジャーナル時代に対応したシステムの構築

去る 3 月 12 (火)、13 日 (水) に開催させていただきました「電子ジャーナル導入による学内冊子体 1 誌化の推進について」の説明会でも述べさせていただきましたが、科学、技術及び医学、所謂 “ STM (Science, Technology & Medicine) 分野 ” の電子ジャーナル発行数は 2000 年初頭において 4,000 タイトルを超えており、本学平成 14 年度冊子体購入誌の約 8 割強をカバーしています。電子ジャーナルの伸長の度合いは今後益々加速するものと考えられており、当館においてもその対応は学術情報入手活動上、重要な課題と考えています。

電子ジャーナルそのものの導入については前述の説明会にてご説明させていただきましたとおり、本年 5 月を目途に平成 15 年度実施の可否について学内関係各位と継続して検討を進める予定ですが、電子ジャーナルの利用環境の整備については附属図書館システム改修作業の中で実現すべき課題として位置付け、別途、館内検討を進めてきました。電子ジャーナル・システムは提供元である出版社によっても区々であり、現段階で統一に対応することが困難な状況ではありますが、利用する側においても提供が望まれ、かつ将来的にも国際的な対応が期待できる機能について検討を行った結果、次の 2 つの機能を新年度において提供することといたしました。

(1) 電子ジャーナル参考文献間相互リンク “ CrossRef ”

「CrossRef (クロスレフ) 」とは非営利団体 Publishers International Linking Association (P I L A) による電子ジャーナル参考文献間相互リンクシステムで、現在、78 の出版社及び学協会が参加し、4,780 誌 300 万件の論文間で相互リンクが可能になっています。個々の出版社の電子ジャーナルシステム (例えば、Springer-Verlag では「LINK」と言う電子ジャーナルシステムを提供) そのものでは自社発行の電子ジャーナル内のリンクしか行うことができませんが、CrossRef では「DOI (Digital

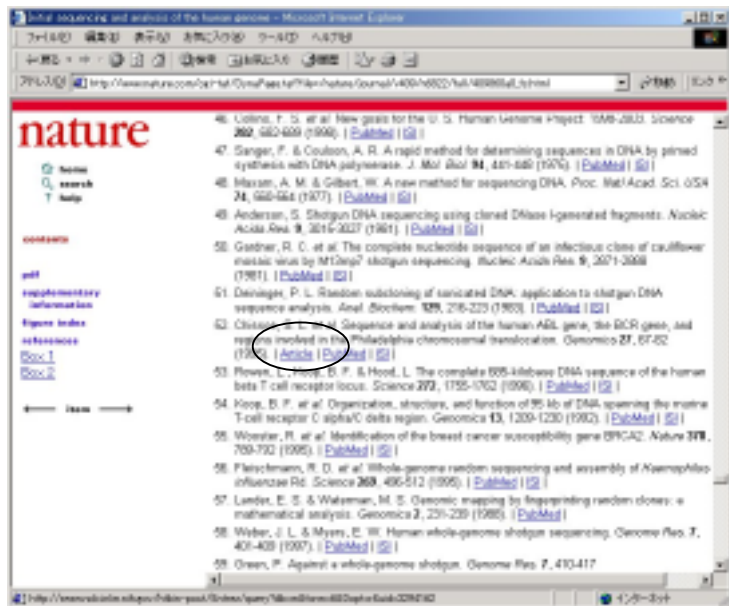
図 1 . CrossRef による参考文献間リンク

(Nature 誌掲載論文から Genomics 誌掲載論文へ)

Object Identifier : デジタルオブジェクト識別子) と呼ばれる個々の論文 ID を用い、他社発行誌であっても参考文献一覧から直接表示することが可能になります (図 1 参照) 。

新システムでは Ovid 社電子ジャーナルシステム「 Journals@Ovid (ジャーナルズ・アット・オビッド) 」の「 OpenLinks (オープン・リンクス) 」を用い、電子ジャーナル参考文献間相互リンク CrossRef を提供するとともに、MEDLINE 検索結果に対する他社発行誌の電子ジャーナル直接表示機能を提供します。

なお、これらの機能については 4 月中旬に整備を終え、 5 月より提供開始する予定であります。



(2) 情報検索統合検索環境

今日急速に普及している電子ジャーナル利用上の課題の一つに操作性が異なる個々の出版社のシステムに直接接続し、情報を入手しなければならないという利用者側の負担解消があります。

当館システム PIRKA は統合型検索システムとして国内初となる MEDLINE 等の文献検索データベース検索結果からの学外文献複写申し込み機能を提供し、従来の大学図書館システムのマイナス面であった MEDLINE、あるいは学内所蔵目録検索と言った異なったシステムを操作する上での利用者側負担の解消を図ってきましたが、電子ジャーナルの普及によって新たに生じた出版社毎の操作性の違いに対する利用者側の負担解消もまた当館システムが解決しなければならない重要な課題と考えています。

新システムでは従来からの MEDLINE 検索とともに、各社の電子ジャーナルシステムを统一的に扱うことを目的として、現在、NISO (National Information Standards Organization) において規格化の検討が進められ、すでに Ingenta、ProQuest、あるいは Web of Science 等の電子ジャーナルシステムにおいて提供されている汎用情報交換プロトコル「 OpenURL (NISO Standard Committee AX : Development of an OpenURL standard) 」を中心とした新たな技術の導入によってこれらの課題の解消を図る予定であります。国内初の試みではありますが 5 月上旬提供開始を目標に、次の利用環境を提供する予定であります。

MEDLINE 等の二次情報検索システムと電子ジャーナルシステムの横断検索と検索結果の掛け合わせ、検索結果の表示機能

MEDLINE 等の二次情報検索データベース検索結果からの電子ジャーナル本文の表示、あるいは学外文献複写申し込み等、異なったシステムの検索結果からの他システム情報の参照

連携機能

PubMed 等、インターネット上に点在する無償、かつ有用なデータベースシステムの横断検索

関心のあるテーマの検索式保存による最新情報及びコンテンツのメールによる自動通知機能

2 地域医療従事者等に対するサービス拡充

すでに本誌前号(第15巻第3号、2002年3月発行)でもご案内させていただきましたとおり、附属図書館はこれまで地域医療従事者等に対し、図書館直接利用、文献複写サービスを主に提供してきましたが、新システムでは新たに国内初の試みとなる米国国立医学図書館(National Library of Medicine : NLM)の無償 MEDLINE「PubMed」への仲介による文献複写申し込みサービスに加え、道内地域医療機関発行誌に対する電子化支援サービスを開始する予定で現在作業を進めています。詳細につきましては本誌前号と重複することから説明を割愛させていただきますが、地域医療従事者等に対するサービスについては道内唯一の公立医科大学である本学の設置主旨を踏まえ、一層の充実を図っていく考えであります。

3 附属図書館提供の全システムサービスに対する統一認証システムの導入

附属図書館システムにおけるサービスは本学所蔵検索(OPAC)の利用を除き、基本的には利用上の認証を行っていますが、認証方法そのものについては学内 LAN に接続されている端末の IP 認証であったり、また個人認証システムであっても ID カード番号認証や大学のメールシステムである POP の認証を使ったりと利用するシステムによって区々であり、利用者側の負担や混乱を招き、利用上のご不便をおかけしてまいりました。新システムでは ID カード番号を使った附属図書館全システム共通の個人認証システムを新たに構築し、利用上の負担解消を図る予定であります。

計画の統一認証システムはすでにテスト版の動作確認を行っていますが、運用開始時期については移行に伴う混乱を避けるため十分な周知を行う必要があるとともに、現在、附属図書館システム利用のためのパスワードが未申請となっている方々への対応も必要であることから今後十分に検討を行い、決定を行う予定であります。

以上、附属図書館システムの改修計画の概要について述べさせていただきましたが、附属図書館としては利用者の皆様が容易に操作することができ、かつ有意と感じていただけるシステム構築を今後とも進めていきたいと考えています。皆様方からの忌憚りの無い、ご意見ご要望をお寄せいただければと思いますとともに、今回の改修計画にご理解とご協力をお願いいたします。

医学中央雑誌検索システムの移行は終わりましたか？

- CD-ROM 版医学中央雑誌検索システム停止のお知らせ -

すでに本誌第 15 巻第 2 号（2002 年 2 月発行）でお知らせいたしましたが、平成 9 年度より提供してきました CD-ROM 版医学中央雑誌検索システムにつきまして本年 3 月 31 日（日）をもちまして提供を中止とさせていただきますのでご注意ください。なお、Web 版検索システム「MEDOC-J（メドック・ジャー）」に移行されていない方々につきましては早急に移行するようお願いいたします。

また、Web 版検索システム「MEDOC-J」であります。すでに最新年データの登録も完了し、CD-ROM 同様の年度検索が可能になっております（CD-ROM 版では 2002 年 3 月号であります。収録データについては発行元でのデータ作成上のタイムラグがあり、出版年では 2001 年までの発行論文となっておりますのでご注意ください）。今後については CD-ROM 版同様に月単位のデータ更新により最新情報を提供いたしますとともに、有意な機能追加について継続して検討を進めたいと考えます。

なお、Web 版検索システムの利用についてご不明な点がございましたら附属図書館（内線 2425、担当：利用サービス係）までお問い合わせください。

情報検索サービス（NACSIS-IR：ナクシス・アイアール）導入のお知らせ

本誌第15巻3号（2002年3月発行）で国立情報学研究所（文部科学省大学共同利用機関）より提供の標記データベースの試験利用をご案内いたしました。平成14年4月より正式に導入を開始いたしますのでお知らせいたします。これまでNACSIS-IRの利用につきましては、利用料金が個人別従量制の課金方式になっておりましたが、今回の導入により利用者の皆様には利用料金を気にすることなく検索ができるようになりました。

1 提供開始

平成14年4月を予定しておりますが、提供開始及び利用方法等の詳細につきましては改めて附属図書館ホームページ及び館内掲示等によりお知らせいたします。

2 利用対象者

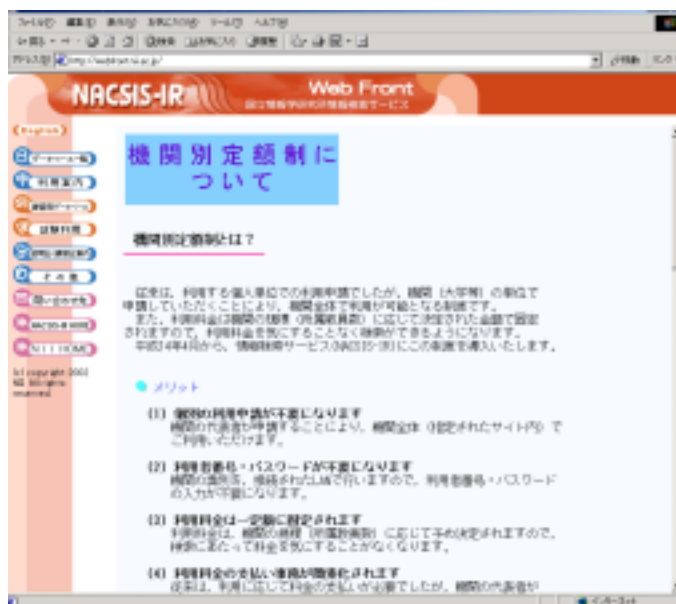
利用対象者は学内所属員（本学教職員、学部学生、院生、研究生、聴講生、研修医、研究補助員）に限ります。

3 対象データベース

データベースの分野につきましては、自然科学の他社会科学・人文科学と幅広くご利用いただけます。国内の主要な学術雑誌に掲載された学術文献の索引情報である雑誌記事索引データベースを含め約50のデータベースに加え、電子図書館サービスで提供しております国内雑誌約160タイトルの全文も併せて利用することができます。

4 問い合わせ先

図書館利用サービス係
（内線 2425、2426）まで



図：情報検索サービス

「電子ジャーナル導入による学内冊子体 1 誌化」推進

学内説明会（3月12～13日）開催報告

すでに本誌第 15 巻第 3 号（2002 年 3 月発行）でご案内させていただきましたが、昨年 11 月より附属図書館で検討を進めてきました国外学術雑誌価格高騰対策に向けた標記説明会を去る 3 月 12 日（火）、13 日（水）の 2 日間にわたり開催いたしました。ここでは学内説明会の概要と当日ご協力をいただきました説明会終了後のアンケート調査結果、そして今後の日程等について簡単にご説明させていただきます。

1 参加状況

説明会は両日とも午後 2 時と午後 4 時の 2 回、計 4 回開催し、医学部 39 講座（全 57 講座の 68.4%）52 名、保健医療学部では 5 講座（全 14 講座の 35.7%）15 名、計 44 講座（全 71 講座の 61.9%）、67 名のご出席をいただきました（図 1 及び 2 参照）。

2 アンケート調査結果

説明会は当日配布いたしました「電子ジャーナル導入による学内冊子体 1 誌化の推進についてハイブリッド時代の学術雑誌収集施策」と題する施策案をもとにパワーポイントを使って主旨説明を行いました。説明会終了後のアンケート調査結果（回答数 51、全出席者 67 の 76.1%）については図 3～7 のとおりであります。附属図書館が本誌等でこれまでご説明させていただきました冊子体重複購入が電子ジャーナル導入価格に与える影響と学内全体として学術雑誌購入予算の効率的な執行を進めることの必要性については概ねご理解いただけたと思います。

しかしながら、平成 14 年度において試行提供しています 1,244 誌の電子ジャーナルについては約 4 割が「知らなかった」と回答しており、あらためて周知方法を検討する必要があると考えます。

3 質疑応答等

説明会開催ご案内時に頂戴した事前の質問等も含め、説明会では多くの質問、意見が寄せられました。本稿では後述のホームページを通し、お伝えすることとし、多くを割愛させていただきますが、次の点につきましては今後、皆様との協議を進める上で重要と考えており、ご説明させていただきます。

まず、平成 16 年度冊子体及び電子ジャーナル合計誌数 1,886 誌（2 月両教授会説明の予定数値）を整備することについて必要誌のみを整備すべきとのご意見がありますが、計画誌数は平成 14 年度において試行提供している日本医学図書館協会電子ジャーナル・コンソーシアム（共同購入・共同利用）事業による出版社単位での導入によるものであり、1 誌単位で購入する場合より遥かに安価であると言う対費用効果に加え、医学及び保健医療学部、そして学部学生等も含めた様々な利用者のニーズに答えていかなければならないと言う附属図書館の中央部門的役割を勘案した結果であります。

また具体的な講座負担額についてであります。説明会でもご説明させていただきましたが、平成 15 年度外国雑誌契約作業前に結論を出す必要があることから、本年 5 月末までに皆様からのご意見を頂戴し、最終決定させていただく予定であります。

以上、先に開催しました学内説明会の概要についてご紹介させていただきましたが、附属図書館としては本計画推進にあたり学内関係各位と一層の意見交換を行いたく、4 月早々に「学内冊子体 1 誌化推進ホームページ」（仮称。学内限定）を開設し、電子ジャーナルも含めた学術雑誌購読に係わる情報提供を行うとともに、皆様からのご意見を頂戴する予定であります。

なお、最後になりましたが、本説明会にご参加されました教職員をはじめとする学内関係各位に感謝いたしますとともに、引き続いてのご理解とご協力をお願いいたします。

図1．参加講座数

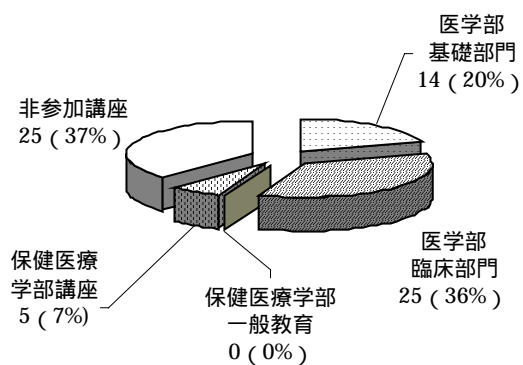


図2．参加者数

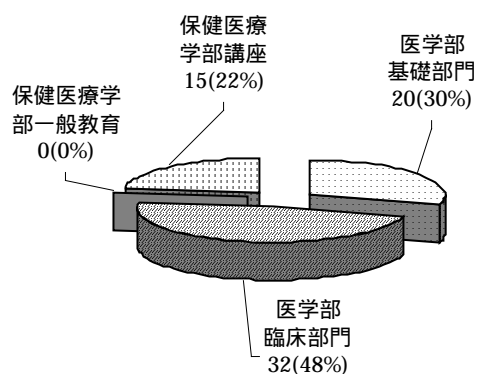


図3．冊子体重複購入が電子ジャーナル購入に与える影響について

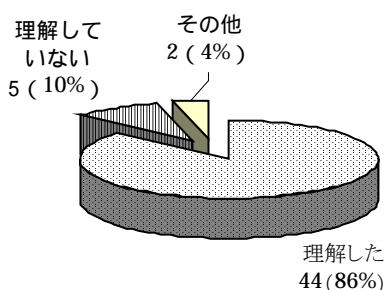


図4．学内冊子体重複購入の解消について

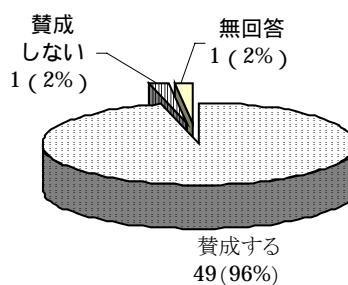


図5．電子ジャーナルの契約形態について

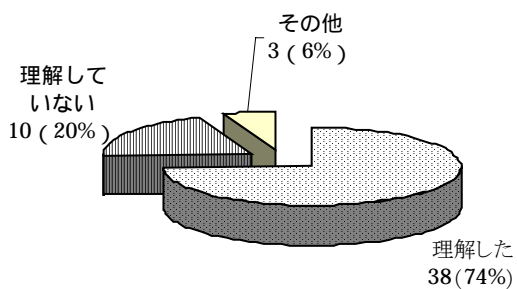


図6．所要経費の講座負担について

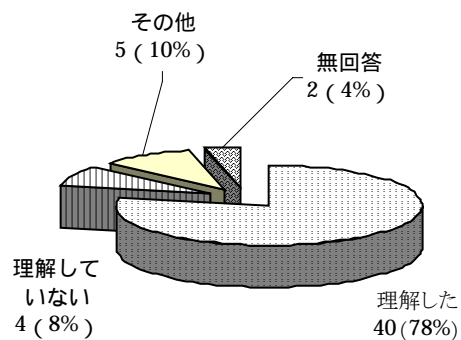
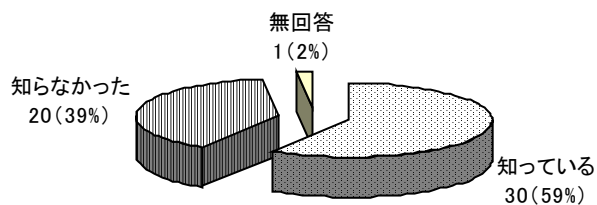


図7．電子ジャーナル試行提供(1,244誌)について



平成 13 年度 保健医療学部卒業生寄贈図書のお知らせ

平成 13 年度保健医療学部卒業生より下記の資料をご寄贈いただきましたので、ぜひご利用をお願いします。

なお、この寄贈資料リストは分類順の主題テーマごとになっています。

- 老人・障害者の心理 / 藤田綾子, 村井潤一, 小山正編 (新・セミナー介護福祉 7) (4 階開架 143/F57)
介護福祉士まるごとガイド : 資格のとり方・しごとのすべて / 日本介護福祉士会監修
(まるごとガイドシリーズ 2) (4 階開架 369/N71)
- いじめの国際比較研究 : 日本・イギリス・オランダ・ノルウェーの調査分析 / 森田洋司監修
(4 階開架 371/I29)
- お年寄りの食事 Q&A / 森山喜恵子著 (シリーズ・高齢者の暮らしを支える Q&A 1) (4 階開架
498/Mo73)
- 40 歳からの運動のすすめ : 身体福祉論 / 宮下充正著 (4 階開架 780/Mi83)
- 高所 : 運動生理学的基礎と応用 / 宮村実晴編著 (4 階開架 QT261/Mi78)
- からだを動かすしくみ : 運動生理学の基礎からトレーニングまで / 中本哲, 井澤鉄也, 若山章信著
(4 階開架 QT261/N35)
- 研修医・看護婦・薬剤師のためのまちがいのない抗癌剤の使い方 : 抗癌剤を毒薬にしないために
/ 箕輪良行, 松井征男監修 ; 東京都立駒込病院化学療法科著 (4 階開架 QV269/Mi47)
- 日本版成人・高齢者用アセスメントとケアプラン : 在宅・施設併用 : JAC-LTC 方式 / 内田恵美子,
島内節編著 第 3 版 (4 階開架 W130/N71)
- 生命倫理への招待 / 塩野寛著 (4 階開架 W50/Sh75)
- 健康科学 / 健康科学研究会編 改訂版 (4 階開架 WA108/Ke45)
- 健康・運動・スポーツ / 坂井学編著 (4 階開架 WA108/Sa29)
- 注射・輸液 Q&A : 医療事故防止と感染予防のための / 陣田泰子[ほか]編著 (Q&A ブックス)
(4 階開架 WB354/J52)
- 運動の神経科学 : 基礎から応用まで / 西野仁雄, 柳原大編 (4 階開架 WL300/N85)
- 頭頸部腫瘍治療における Decision Making / 岸本誠司編集 (耳鼻咽喉科診療プラクティス 4)
(4 階開架 WV100/J46/4)
- 難治網膜・硝子体疾患のレスキュー / 池田恒彦本巻担当編集委員 (ケーススタディと解説で学ぶ
眼科診療レスキュー 4) (4 階開架 WW140/C25/4)
- 看護に役立つ「なぜ・何」事典 : ポケット版 / 野中広志著 (4 階開架 WY13/N95)
- 病院看護の通信簿(レポートカード) / アメリカ看護婦協会編集 ; 菅田勝也, 綿貫成明, 松本あき子訳 (4
階開架 WY150/A44)
- ナースの内科学 / 越川昭三編著 改訂 5 版 (4 階開架 WY150/N99)
- 精神看護学 / 田中美恵子編著 ; 江波戸和子[ほか]著 (やさしく学ぶ看護学シリーズ) (4 階開架
WY150/Y61)
- 小児看護学 / 筒井真優美編著 (4 階開架 WY150/Y61/5)
- 母性看護学 / 松岡恵編著 ; 塩野悦子, 大久保功子, 木村千里著 改訂版 (やさしく学ぶ看護学シリーズ
6) (4 階開架 WY150/Y61/6)
- ナースの麻酔科学 / 諏訪邦夫著 (4 階開架 WY151/Su87)
- 救急看護 : 急性期病態にある患者のケア / 高橋章子編集 ; 太田宗夫監修 (4 階開架 WY154/Ta33)
- ナースのための糖尿病療養指導テキスト / 小林正, 高間静子, 吉田百合子編集 (4 階開架
WY155/Ko12)
- ナースのための整形外科学 / 平沢泰介編著 (4 階開架 WY157.6/H67)

看護婦・士まるごとガイド：資格のとり方・しごとのすべて / 日本看護協会監修 (まるごと
ガイドシリーズ 7) (4階開架 WY16/N71)
ナースのための脳神経外科：New / 橋本信夫編 (4階開架 WY160.5/H38)
続・看護に役立つ「なぜ・何」事典：ポケット版 / 野中廣志著 (4階開架 WY162/N95)
看護における癒し：患者の心に寄りそう実践知 / 森田敏子著 (4階開架 WY87/Mo66)
私たちはこのようにして看護の道を選んだ / 川島佳千子編集 (ナースの生きがい 1) (4階開架
WY9/Ka97)
看護は祈り：寺本松野ことば集 / 寺本松野著 (やさしく学ぶ看護学シリーズ 5) (4階開架
WY9/Te53)



寄贈資料のお知らせ

下記の資料を御寄贈頂きました。ありがとうございました。

< 財団法人札幌医科大学学術振興会様 (追加分) >

運動処方指針：運動負荷試験と運動プログラム / アメリカスポーツ医学会編/日本体力医学会
体力科学編集委員会監訳 (4階開架 WE103||A44)

図 書 館 日 誌

平成14年3月

- 7日(木) ・ 県立広島女子大学当館図書館システム見学来館
- 11日(月) ・ 平成13年度学部卒業予定者、大学院課程修了予定者に対する新規IDカード交付開始
- 12日(火) ・ 「電子ジャーナル導入による学内冊子体1誌化」学内説明会
- 13日(水) ・ 「電子ジャーナル導入による学内冊子体1誌化」学内説明会
- 19日(火) ・ 春季休業中の長期貸出開始
- 20日(水) ・ 学外利用者IDカード更新受付開始
- 21日(木) ・ 国民の祝日による休館(春分の日)
- 26日(火) ・ 図書館事務連絡会議

札幌医学雑誌の投稿受付けについて

投稿に際しましては、札幌医学雑誌投稿規程を必ずお読みください。

投稿規程の他に、次のものを準備してください。

- 1 表紙に主任教授の印を受けてください。
- 2 英文抄録は事前に添削を受け、添削者のサインを受けてください。
- 3 英文抄録は、添削者のサインのあるものと、添削訂正後のものとの両方が必要です。
- 4 30字以内のランニングタイトル（欄外見出し）をご用意ください。
- 5 本文の欄外に図・表の位置を指示してください。
- 6 文献の最後に、別刷の請求先を記入してください。

* 投稿に際しましては、投稿規程枚数を厳守してください。規程枚数を著しく越える論文につきましては、受け付けられない場合があります。

* 「学位申請論文」、「学位集成論文」を投稿される方は、事前にご連絡ください。

* 連絡先：総務係 永岡 茂（内線 2415 >E-mail to: nagaoka@sapmed.ac.jp）